<table>
<tr><td colspan="4">議事録名：2024年度　第1回　運営推進介護</td></tr>
<tr><td>日　時</td><td>2024 年　5月 19日（火）13：25～14：25</td><td rowspan="2">議事進行
池野</td><td rowspan="2">5月 21 日
書記：池野</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>小規模多機能型居宅介護 令和の郷 ２階　リビング</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td colspan="3">☐池野（令和の郷　管理者兼計画作成担当者）
☐中野（開成町役場　福祉介護課）
☐小野（開成町地域包括支援センター）
☐三橋（上島自治会　自治会長）
☐諸星（上島地区　児童民生委員）
☐木村（上島地区　児童民生委員）
☐内藤（中家村地区　児童民生委員）
☐井上（ご利用者様様　ご家族）
　以上８名（敬称は省略させて頂きました。）</td></tr>
<tr><td>資　料</td><td colspan="3">2024 年度　第１回運営推進会議次第、2024年３月・４月度　運営状況報告書、
2024 年度　年間予定表　　以上当日配布</td></tr>
<tr><td colspan="4">議題及び議事内容</td></tr>
</table>

次第に従い議事進行致しました。

１.　開会あいさつ（池野）

年度が変った事により、開成町役場の担当者の変更や初めて出席される参加者もあるため、全員が自己紹介を行った。また、「運営推進会議」の意義や構成メンバーについての説明を行った。

構成メンバーについて、今回は「ご利用者様及びご家族の代表」としてご利用者様のご家族の方も参加して頂いているが、特定の方を代表としている訳ではなく、都度、ご利用者様及びご家族に開催案内とコメント記載欄がある出欠表をお渡ししている。毎回、出席できる方に参加して頂いている。代表の参加者が無い事もあり、その時は、コメント欄にてご意見を頂く事で対応している事を説明する。

２.　運営状況報告

管理者の池野より、当日配布の「小規模多機能型居宅介護 令和の郷 2024 年３月・４月度 運営状況報告書」の読み合わせによる運営状況の報告を行った。

利用者状況について、月の登録者は、その月の延べ登録者数。３月は 21 名、４月は 25 名。３月に２名、４月に４名の新規利用があり、２か月間で６名の新規利用者があったが、４月に３名の終結もあり出入りの多い２か月間であった。また、新規利用者は、退院支援や急激な心身機能の低下により自宅での介護が難しくなった等の理由で「泊り利用」が必要な方も多く、月の宿泊室の稼働率が 84.1%とかなり高い稼働率で推移した。４月の３名の終結理由としては、逝去された方１名、入所者１名、入院１名。逝去された方については、自宅で介護者様、訪問看護、事業所管理者でお看取りする形。訪問診療をご利用頂い

ているご利用者様で、直ぐに訪問診療の医師も駆けつけて来て下さり、無事、ご自宅でお看取りをさせて頂いた。入所者については、地方の介護者の住近隣の老人ホームへの入所。医療機関に入院された方は、元々独居で生活をされていたが、認知症の進行に伴い、独りで過ごすことに対しての不安が強くなり、救急車を呼んでしまったり、近隣宅のドアチャイムを押したりする行動があったため事業所で介入したが、帰宅願望も激しく、事業所でも上手く過ごすことができず、町役場（行政）と地域包括支援センターも介入して北小田原病院に強制入院となっている。

職員状況についは、5月1日現在で変更はないが、5月後半より、看護師の変更あり。現在、高台病院より、毎週月曜日に２～３時間で看護師を配置しているが、今後は、あじさいの郷からの看護師となる。ゆくゆくは、同一法人内の小規模多機能型居宅介護の３事業所で１名の看護師を雇用する予定。

研修状況について、３月は、予備月としていたため、研修は実施していないが、新たな年度が始まる４月より年間計画に基づき研修を実施。４月から６月までの３か月については、就業規則、服務規程、倫理、法令遵守、ハラスメント等の業務をする上での基本事項について管理者が講師となり実施。介護サービスは、「制度ビジネス」とも言われている業態のため、法令に沿って業務に従事しなくてはならないことや守らなくてはいけない法令も「介護保険法」や「老人福祉法」等の介護にかかわる法令以外に「労働基準法」「個人情報保護法」「各ハラスメントに係わる法令」があることなどについても理解を深める研修。４月については、「就業規則・服務規程」についての研修を実施。事業所内に設置の就業規則を利用して研修を行い、内容の確認を行った。

３月に入り、気候も安定して暖かい日も続き、ご利用者様の皆様の体調も安定し、外出の機会や隣接の三平保育園との交流も行えるようになり、ご利用者様様の笑顔も増えてきた。また、運営法人が「医療法人　陽風会」から「医療法人　勝又」に変わり、書類の変更や運営体制の変更、更に４月からの介護報酬改定の手続きなどもあり、運営側としてはかなり忙しくなった。

４月は、新規ご利用者様、終結者も多くご利用者様の出入りが激しい、月となった。急に新規ご利用者様が増えた事が影響したのか、誤薬事故もあったが、そんな中でもお花見や花見団子づくりなどご利用者様の活動はしっかりと行う事ができた。

ヒヤリハット・事故・苦情報告は、４月に２件の服薬関係の事故があり、開成町の役場には、介護事故報告書を提出済。

１件目は、朝薬の誤薬事故。服薬介助で訪問サービスをするご利用者様。訪問職員は、複数ご利用者様の薬を持って訪問。間違えて別の方の薬を服用させてしまった。次の訪問先に行った際に間違えて服薬させてしまった事に気付き主治医に問い合わせを行おうとし

たが、当日休診日で連絡がつかず、かかりつけ薬局に問い合わせを行い、対応の指示を仰いだ。誤薬が降圧剤、利尿剤だった為、急な血圧の低下とそれに伴うふらつき転倒の心配があるとの事で、ご本人に謝罪、説明し経過観察の為、翌朝まで、事業所で過ごして頂く事とした。特変なく、翌朝、帰宅して頂いた。事故の原因としては、訪問出発前に訪問順が急に変更になった為、混乱、勘違いしてしまった。（担当の職員より）薬包に記載してある名前は確認したものの思い込みより、服用させてしまった。

今後の対応としては、薬包の名前を声に出し、ご本人にも確認して頂く。また、ご自宅に服薬カレンダーを設置可能な方については、服薬カレンダーをご自宅に設置してもらう事となり、現在は、自宅に服薬カレンダーを設置。１週間ごとにカレンダーを事業所に持ち帰り服薬セットを実施している。

２件目は、昼薬の未薬事故。夜勤者が夕食後薬を配薬する際に配薬カップ内に昼食後薬が残っているのを発見、未薬に気付く。ご本人は、既に帰宅後であった為、ご自宅に電話連絡を行い、残薬を自宅に届け、謝罪する。お届けした際に介護者様からは、「昼食後薬は、服用してもしなくても良いと言われている薬なので大丈夫です。届けて頂き、ありがとうございます。」との事だった。事故原因としては、薬剤が１錠シートをカットした状態の為、配薬カップの底にあり気付けなかった。ケース内の確認不足だったと考えられる。

今後の対応としては、服薬後は、空のカップは逆さまにして置き、空になっている事を確認する。また、服薬済みの逆さまにしたカップは、別の職員が再度、空を確認して片づける事とした。また、現在、半透明の配薬カップを止め、透明の物に変更した。現物を、本日の出席者にも確認して頂いた。

３．　意見交換

・ご利用者様も増えてきている様子だが職員の増員の予定は？（民生委員）

現在のご利用者様数に対しては、人員は足りていると判断している。今後、更に登録者数が増えて来るようであれば検討する。今年度の事業目標にも示しているが、健全な運営（赤字運営でない運営）には、常時 25 名以上の登録、平均介護度が 2.0 以上必要だと言われている。現状の人員配置で登録者数 25 名までは対応できると考えており、常時 26 名以上の登録者数が確保できたところで人員の増員を検討する。（池野）

・ご利用者様数を増やすための広報活動などはどのようにしているのか？（自治会長）

広報活動先としては、足柄上病院、小田原市内の病院の地域連携室や退院支援室などに訪問している。病院からは、主に退院後の在宅復帰支援のご利用者様がターゲットとなる。退院支援の方については、「泊り」利用からのスタートとなる事が多く、現在、令和の郷は、居室がほぼ満床状態の為、積極的に受け入れる事ができない状況。現在、「泊り」利用の方の中には、自宅に戻れる方も数名いるのでこの方をま

ず、在宅復帰させなければならない状況。事業所では、在宅復帰が十分可能であると考えているご利用者様であっても、ご家族の受入れがなかなか難しい方もあり課題となっている。病院以外には、開成町、大井町、松田町、小田原市、南足柄市などのケアマネ事業所にも広報活動を行っている。また、現場職員は、開成町、南足柄市内の店舗、ガソリンスタンド、薬局、個人病院などへパフレットの設置の依頼を行っている。今年度内には、明治ゴム、クレシア等の企業の総務課にも「介護相談会」の案内ができればと考えている。企業にとっても「介護離職問題」に取り組んでいる企業である事をアピールするチャンスでもある事を伝えようと考えている。（池野）

隔月で発刊している「社協たより」に広告を掲載するスペースがあるので活用してみてはどうか？「社協たより」は、開成町内全戸配布となっているので良いのでは？費用としては、12㎝×6㎝で5,000円、6㎝×6㎝で3,000円です。後で資料を送るので検討してほしい。（地域包括支援センター）

・吉田島高校や三平保育室との関りについて（民生委員）

今年度の吉田島高校との関りについては、6月5日に担当の先生と打ち合わせを行う予定。本来であれば、前年度に打ち合わせを行えればと考えているが、学校も移動や担当の変更などもある為、どうしても年度が替わってからになってしまうとのこと。また、4月5月は、新年度が始まったばかりで忙しくこの時期になってしまっている。今年度も課外事業の時間を利用して事業所に来て頂いたり、学校に訪問したりしながら交流を図る予定。また、クラブ活動（家庭クラブ）でも交流が図れる可能性があると聞いている。事業所としてもご利用者様との交流活動以外に認知症サポーター研修、救命講習の講師派遣やインターシップの受け入れなどを考えている事を提案予定。今後も末永くお付き合いができる関係性の構築を考えている。令和の郷の他に三平保育室や法人内の事業所との関りも持てるよう考えている。この交流がきっかけで、介護、保育、看護の人材確保、育成に繋がればと考えている。

吉田島高校だけではなく、文明中学とも関わり持てればと考えている。職業体験などの来て頂ければと考えている。（池野）

吉田島高校で認知症サポーター研修を実施する際には、是非、地域包括支援センターでもお手伝いをさせてほしい。コロナ前までは、包括支援センターで認知症サポーター研修と救命講習のお手伝いをしていた。（包括支援センター）

中学校のカリキュラムの中で夏休みの課題の中に福祉についての作文を書く課題があり、その際には、福祉施設に体験に行く事になっていると思うので、聞いてみる。また、中学校に直接、話に行くよりも町の教育委員会を通した方がスムーズな場合もあるので相談してほしい。（開成町役場）

事業所の自己評価については、今年度はスタートが遅れてしまった関係で今年度中に終了する事ができなかったため、次年度の予定表には盛り込んだ。事業所の自己評価については、全部で9項目あり、全職員が自己評価を行った後に事業所内でミーテ

ィングを行い、結果を運営推進会議で報告する事業所のサービスの質の向上のために実施する事になっているもの。

・事業所の自己評価について（池野）

2023 年度の事業所の自己評価について、今月、やっと全項目の事業所ミーティングが終了した。今年度の改善計画も作成しましたので、次回の運営推進会議でお知らせできると思う。

４．　次回の開催について

令和６年７月 16 日（火）13 時 30 分～予定。

５．　閉会の挨拶（池野）

以上

回覧			
事務局長	副部長	管理者	職　　員